

ラベンダーバンドルズ（スティック）作り



西東京花の会ハーブ教室

用意するもの

ラベンダー（生） 30cm～50cm 奇数本（例 7、9、11 本）

リボン 150cm 程

はさみ

作り方

1. ラベンダーを奇数本手に取り、葉や離れて付いている花を取ります。



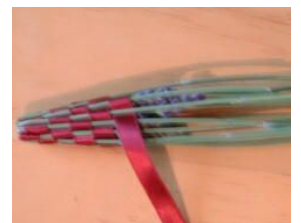
2. 花穂の下をそろえ、リボンで結び、短い方は切ります。

3. 茎の長さを花穂の約3倍に切りそろえます。



4. 花穂を下方に向け、茎を花穂の方へねじりながら放射線状に折り返し等間隔に花穂全体を包むようにします。

5. リボンを茎の折り返したところに出し上、下、上、下と編みこんでいきます。左右どちら回りでも OK です。



6. 2週目は1週目と逆の模様になるように編み込みます。

7. 花穂が隠れるまで続け、リボンはキリの良いところで切ります。

8. 編み込みの下で余ったリボンで蝶々結びにして完成です。



ラベンダーについて



ラベンダーはシソ科多年草植物で、「香りの女王」と呼ばれ古代ローマ時代から数千年にわたり世界中で愛されてきたハーブです。

ラベンダーの香り成分は抗菌、消毒作用に優れ、古代では入浴の時に使っていたようです。

安眠のハーブとしても有名で、甘く、優しい香りは心を落ち着かせ、質の良い眠りをもたらします。

外用には火傷や傷に軟膏にして用い、スキンケアに用いると、皮膚の修復を助け、肌を引き締め、清潔に保ちます。

種類

ラベンダーの種類は非常に多いのですが、代表的なものとして

*イングリッシュ系…北海道富良野のおかむらさきなど、トゥルーラベンダー。
寒さに強く、香り高い。



*ラバンディン系…イングリッシュ系とスパイク系のかけあわせ。
暑さに強く、スッキリした香り。
イングリッシュ系より育てやすい。



*フレンチ系…花穂の上にリボンのような苞がついていて、観賞用。
暑さにつよく、育てやすい。

